



杏林大学データサイエンス標準教育プログラム

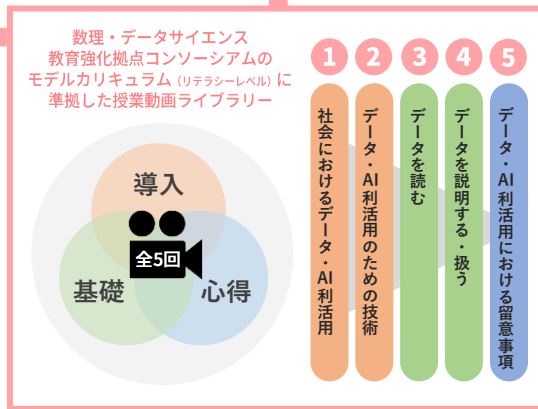
取組概要

数理・データサイエンス・AIは、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」とも呼ばれ、その基礎的素養を備えた人材の育成は大学教育における急務である。これまで本学は附属病院を有する総合大学として、医療系をはじめ、文系理系問わず情報系関連科目を充実させてきた。令和3年度より、数理・データサイエンス・AIの基礎知識や技術に関する授業動画を各学部・学科の情報系科目に融合し、**全学でデータサイエンスの基礎を学修可能なプログラム**を新たに開始した（詳しくは、<https://www.kyorin-u.ac.jp/univ/ds/>）。これにより、学生が一般的なデータサイエンスの知識を体系的に修得し、データの利活用法を身に付けることで、将来の社会課題解決へ向けた基礎能力の形成を促す。

修了要件 所属する学科の認定科目を全て修得すること。

学部・学科・専攻	認定科目数 ●動画教材導入科目	動画教材 導入科目名
医学部		情報科学
医学科	●	
保健学部		データサイエンスリテラシー
臨床検査技術学科	●	情報処理演習
健康福祉学科（健康福祉コース）	●	情報処理演習
健康福祉学科（健康スポーツコース）	●	情報処理論
看護学科・看護学専攻	●	情報科学
看護学科・看護看護教育学専攻	●	計算機演習
臨床工学科	●	情報処理演習
救急救命学科	●	情報処理論
リハビリテーション学科・理学療法学専攻	●	情報処理論
リハビリテーション学科・作業療法学専攻	●	情報処理論
リハビリテーション学科・言語聴覚療法学専攻	●	基礎画像工学
診療放射線技術学科	●	情報処理論
臨床心理学科	●	
総合政策学部		情報リテラシー
法律政治学科	●	情報リテラシー
経済経営学科	●	
外国語学部		データサイエンス
英語学科	●	データサイエンス
中国語学科	●	データサイエンス
観光交流文化学科	●	データサイエンス

各学科の情報系科目にデータサイエンスを学べる基礎動画コンテンツを整備



学修目標

本プログラムにより、数理、データサイエンス、およびAIを社会の中で活かすための基礎を涵養し、他者にその有用性を説明したり、各分野において実社会でデータを適切に扱えるようになることを目標とする。



↑ プログラムへの参加を促すリーフレット ↑ 受講の手引き
☑ 学生のプログラムへのアクセスを支援する資料をガイダンス等で配布

実施体制 | 杏林大学データサイエンス標準教育プログラム規程

データサイエンス教育委員会

- データサイエンス教育研究センター長（委員長）
- 総合情報センター長
- IR推進室長
- 医学部教務部長
- 保健学部教務部長
- 総合政策学部教務部長
- 外国語学部教務部長
- 医学部事務部長
- 井の頭事務部教務課長
- データサイエンス教育ワーキングメンバー

プログラムの企画・統括・実施

教員間の連携と講義内容へのフィードバック

- 動画の視聴状況および授業後の学生向けの授業アンケートを分析し、より学習効果の高いコンテンツに改善する。
- 教員向けアンケートを実施し、各科目の専門性に応じた適応的カリキュラム編成を目指す。
- 教員間における指導方法の共有と蓄積
- 学内におけるデータサイエンス関連の研究成果を話題として授業を通じて学生に還元する。



大学HP「CLOSE UP KYORIN」より

授業評価アンケート・受講状況の分析等

自己点検・評価の実施と学内外への公開／教員支援

- 自己点検結果の大学HPへの公開。外部評価の実施。
- 広報室と連携。データサイエンス教育に関する取り組みを学内外に周知。
- 各学部FD委員会と連携。データサイエンス教育に関するFD研修会を開催。

全学でデータサイエンスプログラム開始

2021年度よりデータサイエンス教育強化プログラムが開始された。このプログラムはデータサイエンスへの基礎知識や技術を習得し、それらを活用する能力の育成を目的としている。このプログラムでは、個人授業履修やチーム履修、指導者へのリクエストなど柔軟な履修方法や、文系理系両方から履修できる授業や、オンデマンド授業の提供も目指す。また、各学部で実施している情報系科目にこのプログラムを融合し、学生の学びをさらに広げたいという思いから、4月に開設したこのプログラムは総合政策学部、外国語学部、保健学部、医学部いずれの学生も履修でき、卒業単位として認定されます。現代社会が必須とするデータサイエンスの知識を身につけ、問題解決力を持つ人材の輩出をめざしています。



広報誌あんず2021年秋号より



令和3年度FD・SDポスター